

事務局アクションプラン

	区 分	細 目	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	
事務局	ガバナンス コンプライアンス (財務・法務)		財務・法務委員会設置、活動											
		・定款 ・規則規定 ・就業規則 ・マーケティング												
		定款・規定を見直し、その時代に則したものの構築												
		長野県協会の理念・ビジョンを理解してもらい協賛企業を獲得(新規・継続)する												
	組織	・職務分担	職務分担表の見直し・更新を定期的に行い、全員が均等に業務が出来ることを目指す											
			各委員会担当を決め、事務局と委員会がより情報共有できるようにする											
			障がい者サッカー(7種目)登録推進をJFAに働きかけ、サッカーファミリーの増加を図る											
		・サッカーファミリー登録	登録することによる特典を設け、登録者の減少阻止に役立てる。また他競技(野球・ラグビー等)とのコラボを企画し、サッカーの楽しさを知ってもらう											
			広く告知することにより、eスポーツ人口を増やす。国体長野県予選大会を充実させていく											
	環境	・環境	WEB会議環境整備・テレワークに対応したネットワーク環境の構築・ホームページのリニューアル(速報サイトが可能になるようにする)											
			復興支援委員会(JFA)を通し、各地区の施設を再整備していくことを地区部会に働きかける。											
		・施設												
			・備品	県内4地区のフットボールセンター化を実現する。2022年までに東信地区2025年までに北信地区2028年までに南信地区										
	会計	・会計	協会の会計処理基準を理解してもらうことにより、会計担当者の負担を軽減する											

J F A 全 国 都 道 府 県 チ ャ ー ト 5 位 以 内

事務局

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	事務局	
	a	b	c	d	go for 2027国体	
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	登録することによる特典を設け、登録者の減少阻止に役立てる。また他競技(野球・ラグビー等)とのコラボを企画し、サッカーの楽しさを知ってもらう。	①復興支援委員会(JFA)を通し、各地区の施設を再整備していくことを地区部会に働きかける。 ②県内4地区のフットボールセンター化を実現する。(2022年までに東信地区、2025年までに北信地区、2028年までに南信地区)			広く告知することにより、eスポーツ人口を増やす。国体長野県予選大会を充実させていく。	①財務・法務委員会設置、活動 ②定款・規定を見直し、その時代に則したものの構築 ③長野県協会の理念・ビジョンを理解してもらい協賛企業を獲得(新規・継続)する
2021	↓	(東信地区)(北信地区)(南信地区)			↓	④職務分担表の見直し・更新を定期的に行い、全員が均等に業務が出来ることを目指す
2022	↓	↓			↓	⑤各委員会担当を決め、事務局と委員会がより情報共有できるようにする
2023	↓				↓	⑥障がい者サッカー(7種目)登録推進をJFAに働きかけ、サッカーファミリーの増加を図る
2024	↓				↓	⑦WEB会議環境整備・テレワークに対応したネットワーク環境の構築・ホームページのリニューアル(速報サイトが可能になるようにする)
2025	↓	↓			↓	⑧委員会の備品管理担当者を決め管理をする(管理台帳作成)
2026	↓				↓	⑨協会の会計処理基準を理解してもらうことにより、会計担当者の負担を軽減する
2027	↓				↓	⑩定期的な会計担当者会議の開催
2028	↓	↓				↓
2029	↓					
2030	↓					
2030達成目標						JFA全国都道府県チャート 5位以内!

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名		
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	審判委員会		
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体		
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	Jリーグ・なでしこリーグ・フリーグで活躍する1級審判員の輩出	
2020	サッカー人口の減少や新型コロナウイルスの影響で2020年度、2021年度の審判員登録者は減少の見込み。新しい形の講習会を検討、模索して審判登録者の増員を図る。	県サッカー協会の方針に沿って協力。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たすためには、北信越レベル、全国レベルの審判員の育成も重要となる。	各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。	国民スポーツ大会で活躍できる審判員の育成。2026年まで毎年Rアカデミー：ユース審判員5名以上 2級審判員：3名以上の昇級	2025年までに 1級審判員：1名 女子1級審判員：1名 F1級審判員：1名 を輩出する	
2021		県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2022	新規取得者：1,900人 資格更新者：6,000人 審判登録者：7,900人	県サッカー協会の方針に沿って協力。	試合レベルにマッチした審判員の育成・強化のための審判指導者の育成。	各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2023	新規取得者：1,900人 資格更新者：6,700人 審判登録者：8,600人	県サッカー協会の方針に沿って協力。	2025年までに INSTレセン参加者：30名以上 S3級INS取得：15名以上 S2級INS昇級：10名以上 S1級INS昇級：2名以上 F3級INS取得：5名以上 F2級INS昇級：3名以上 F1級INS昇級：1名以上	各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2024	新規取得者：2,000人 資格更新者：6,800人 審判登録者：8,800人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2025	新規取得者：2,100人 資格更新者：6,900人 審判登録者：9,000人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2026	新規取得者：2,200人 資格更新者：7,000人 審判登録者：9,200人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。	必要審判員数82名、内長野県2級審判員30名を確保 ※2027時点の2級審判員：55名	2030年までに 1級審判員：2名 女子1級審判員：2名 F1級審判員：1名 を輩出する	
2027	新規取得者：2,300人 資格更新者：7,100人 審判登録者：9,400人	県サッカー協会の方針に沿って協力。	試合レベルにマッチした審判員の育成・強化のための審判指導者の育成。 2030年までに INSTレセン参加者：30名以上 S3級INS取得：15名以上 S2級INS昇級：10名以上 S1級INS昇級：2名以上 S級INS昇級：1名以上 F3級INS取得：5名以上 F2級INS昇級：3名以上 F1級INS昇級：1名以上	各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2028	新規取得者：2,400人 資格更新者：7,200人 審判登録者：9,600人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。	各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。		
2029	新規取得者：2,500人 資格更新者：7,300人 審判登録者：9,800人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。			
2030	新規取得者：2,600人 資格更新者：7,400人 審判登録者：10,000人	県サッカー協会の方針に沿って協力。		各種講習会等でのサッカー競技の精神および競技規則の正しい理解の推進と各種別のウェルフェアオフィサー講習会への協力。		国際審判員：1名 Jリーグ主審：2名 なでしこプロリーグ主審：1名 Fリーグ主審：1名	
2030達成目標	新規取得者：2,600人 資格更新者：7,400人 審判登録者：10,000人		S・F3級INS：50名（内女性5名） S・F2級INS：40名（内女性2名） S・F1級INS：6名（内女性1名） S級INS：1名				

規律・フェアプレー委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1	2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。	長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	規律・フェアプレー委員会	
	a	b	c	d	go for 2027国体
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。
2020	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	ウェルフェアオフィサー部会の発足し、2年目を迎え、各種別毎にマッチウェルフェアオフィサーの資格取得を目指し競技会に派遣する。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2021	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	各種別毎にマッチウェルフェアオフィサーの資格取得を目指し、競技会に派遣する	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2022	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	各種別毎にマッチウェルフェアオフィサーの資格取得を目指し、競技会に派遣する	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2023	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	クラブへのウェルフェアオフィサー設置を普及させる。講習会の実施	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2024	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	クラブへウェルフェアオフィサーの資格取得をチームへ呼びかける。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2025	フェアプレー委員会の活動として、フェアプレー賞の推進を進め、サッカー活動における事業として位置づける。	フットボールセンターに相談窓口設置を目指す。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	クラブへウェルフェアオフィサーの資格取得をチームへ呼びかける。種別毎に暴力根絶を目指してリスペクト研修会を開く。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2026	県民にもサッカーを通じて、フェアプレーの価値を広げ、フェアプレー賞の存在意義を理解できるようなイベントを開催する。	フットボールセンターに相談窓口にて暴力や差別の根絶を目指して対応できる機関として機能させる。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	クラブへウェルフェアオフィサーの資格取得をチームへ呼びかける。各種別毎に暴力根絶を目指してリスペクト研修会を開く。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2027	県民にもサッカーを通じて、フェアプレーの価値を広げ、フェアプレー賞の存在意義を理解できるようなイベントを開催する。	フットボールセンターに相談窓口にて暴力や差別の根絶を目指して対応できる機関として機能させる。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	クラブへウェルフェアオフィサーの資格取得をチームへ呼びかける。各種別毎に暴力根絶を目指してリスペクト研修会を開く。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める
2028	県民にもサッカーを通じて、フェアプレーの価値を広げ、フェアプレー賞の存在意義を理解できるようなイベントを開催する。	フットボールセンターに相談窓口にて暴力や差別の根絶を目指して対応できる機関として機能させる。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	長野県サッカー協会として暴力根絶に向けたシンポジウムの企画を準備する	長野県全体でサッカー界での暴力を目指して、ウェルフェアオフィサーの存在を広げ、MWOはゲームでの見守り、TWOはチームでの取り組みを向上させ、長野県全体で一つのテーマを共有してシンポジウムを開催する。
2029	県民にもサッカーを通じて、フェアプレーの価値を広げ、フェアプレー賞の存在意義を理解できるようなイベントを開催する。	フットボールセンターに相談窓口にて暴力や差別の根絶を目指して対応できる機関として機能させる。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	長野県サッカー協会として暴力根絶に向けたシンポジウムの企画する。	
2030	県民にもサッカーを通じて、フェアプレーの価値を広げ、フェアプレー賞の存在意義を理解できるようなイベントを開催する。	フットボールセンターに相談窓口にて暴力や差別の根絶を目指して対応できる機関として機能させる。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	長野県サッカー協会として暴力根絶に向けたシンポジウムの企画する。	
2030達成目標	長野県サッカー協会が主催するサッカーイベントにてフェアプレーの素晴らしさを公開する場を設ける。	長野県サッカー協会に暴力相談窓口を設置して、問題の解決を図る。	チームと選手一人々がフェアプレー精神を理解してプレーすることを求める	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、研修会での意見交換やシンポジウムに参加する	

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	医学委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
2020	選手、指導者等へのスポーツ外傷・障害における啓蒙活動		各種大会やトレセンへの医師、看護師、トレーナー派遣		各種大会やトレセンへの医師、看護師、トレーナー派遣。スポーツ外傷・障害における啓蒙。	各種大会やトレセンへの医師、看護師、トレーナー派遣。スポーツ外傷・障害における啓蒙。
2021						
2022						
2023						
2024						
2025						
2026						
2027					スポーツ外傷・障害を減らし、国体での活躍をサポート	
2028						協力医師、トレーナーおよび看護師の協力体制を整える。HP等を活用し、一般へもスポーツ外傷・障害の予防を啓蒙する。
2029						
2030						
2030達成目標	一般市民や選手、指導者へのスポーツ外傷・障害への知識の浸透		スポーツ傷害で苦しむ選手が少なくなり、指導者が医事に関する知識・技術を習得			

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	国体委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	委員会独自の目標・事業
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
2020					本国体への3種別出場	
2021			2027年長野国体へ向けた予算確保と強化体制の整備		本国体への3種別出場	
2022			2027年長野国体へ向けた予算確保と強化体制の整備		本国体への3種別出場・(U-16男・女・成年男子)	U-16化に向けたU-12以下の強化・発掘(技術委員会との連携)U-16女子国体への対応 成年種別の隔年化への対応と選手強化
2023			代表チームの練習内容の充実と選手派遣への協力体制		本国体への3種別ベスト8を目標・(U-16男・女・成年女子)	予算増額による試合・練習の強化
2024			代表チームの練習内容の充実と選手派遣への協力体制		本国体への3種別ベスト8を目標(U-16男・女・成年男子)	予算増額による試合・練習の強化
2025			代表チームの練習内容の充実と選手・指導者派遣への協力体制		本国体への3種別ベスト8を目標(U-16男・女・成年女子)	予算増額によるより集中的・試合・練習の強化
2026			代表チームの練習内容の充実と選手・指導者派遣への協力体制		本国体への3種別ベスト4を目標(U-16男・女・成年男子)	予算増額によるより集中的・試合・練習の強化
2027			代表チームの練習内容の充実と選手・指導者派遣への協力体制		長野国体において3種別で優勝(U-16男・女・成年女子)	予算増額によるより集中的・試合・練習の強化
2028					1. 2020鹿児島国体延期により2028長野開催になる可能性、開催種別の変更の可能性は？ 2. 長野国体開催の有無にかかわらず、U14以下の年代の育成強化を主体とした事業強化	
2029						
2030						
2030達成目標						

競技運営委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々な仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	競技運営委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体 2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	・地域大会、全国大会へつ繋がる各種別の大会運営サポート(毎年)	
2020	JFAフットボールデーを通して育成年代への普及と強化に努める(毎年)	・Jリーグ及びJFLが開催出来る施設の拡充への働きかけ ・ポット苗による芝生施設の拡充	—	ウェルフェアオフィサーの役割、必要性の認識	・地域大会、全国大会へつ繋がる各種別の大会運営サポート(毎年)	
2021	JFAフットボールデーを通して育成年代への普及と強化に努める(毎年) (4地区巡回開催など全県で実施)	各地区芝生のグラウンドのインフラ整備を進める	国際試合の誘致運営を行い、トップレベルの試合を県内で観戦することによりサッカーファミリー拡大と競技力向上を目指す	ウェルフェアオフィサーの資格取得を普及して行く	天皇杯、皇后杯を県内開催し、運営のスキルアップを図る(毎年)	
2022		新規フットボールセンターの供用開始(東信地区)			国際試合の誘致運営を推進する	
2023				各種大会を通した啓発、情報発信を行う	各種別での全国大会を県内にて開催する(毎年)	
2024					を ウ 国体へ向けたプレ大会誘致するとともに運営ノ	
2025		新規フットボールセンターの供用開始(北信地区)				
2026		国体及び全国障害者大会の開催可能な競技場の整備完了				
2027					国体及び全国障害者大会の各種別の大会運営が滞りなく進み、大会成功へつなげる	
2028		新規フットボールセンターの供用開始(南信地区)				
2029						
2030						
2030達成目標	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	・県内4地区にフットボールセンターの整備完了 ・3万人収容規模の屋根付きスタジアムの建設	国際試合の誘致運営を行い、トップレベルの試合を県内で観戦することによりサッカーファミリー拡大と競技力向上を目指す	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを配置し、啓発、情報発信を行う		

1種委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	1種委員会	
	a	b	c	d	go for 2027国体	
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供				成年男子ベスト8進出	
2021	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					
2022	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供		JFL加盟チームを目指す		成年男子ベスト8進出	
2023	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					
2024	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供				成年男子ベスト4進出	
2025	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供		JFL加盟チームを目指す			
2026	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供				成年男子優勝	
2027	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					
2028	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					
2029	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					
2030	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供		JFL加盟チームを目指す			
2030達成目標	チーム登録数、登録選手増加を図る。社会人選手対象に高校、大学等依頼し卒業後のサッカーをプレーできる環境を提供					

2種委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々な仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	2種委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	委員会独自の目標・事業
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
2020	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	2種育成枠を有効に活用し強化に努める	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場する	プリンスリーグ北信越に松本山雅が残留する
2021	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場する	プリンスリーグ北信越に2チームが参加する
2022	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。2種育成枠を設け強化する	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場する	プリンスリーグ北信越が2部制になったら更に参加チームを増やす
2023	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。2種育成枠を設け強化する	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト8を目指す	プレミアリーグに長野県チームが昇格する
2024	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。2種育成枠を設け強化する	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト8を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2025	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	県内4地区にフットボールセンターを整備します。2種育成枠を設け強化する	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト4を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2026	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区フットボールセンターで選手・指導者の強化・研修を行う	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト4を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2027	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区フットボールセンターで選手・指導者の強化・研修を行う	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが2027本国体で優勝を目指します。	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2028	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区フットボールセンターで選手・指導者の強化・研修を行う	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト8以上を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2029	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区フットボールセンターで選手・指導者の強化・研修を行う	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト8以上を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2030	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区フットボールセンターで選手・指導者の強化・研修を行う	2種育成枠を有効に活用し強化に努める。指導者研修も計画する	マッチウェルフェアオフィサーの資格者を更に増やしフェアプレーの推進を図る	U16長野県チームが本国体に出場しベスト8以上を目指す	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する
2030達成目標	地域校でも合同チームなどの工夫により選手の活動場所を確保する	各地区から優秀な選手を選出し国体優勝に繋げる	県内チームの多くがJFAライセンス保持者となる	選手・指導者がフェアプレー精神を理解し、見ている人たちにもその精神が伝わるようになる	本国体において長野県代表チームが優勝する	プレミア・プリンスリーグに複数チームが定着する

3種委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	3種委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体 2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。		
2020	上級指導者・審判資格取得促進 A級B級コーチ候補発掘 指導者研修会開催	U13リーグ参加促進・リーグ編成見直し 地区2部3部リーグにおける柔軟なレギュレーション導入促進 2級審判員候補発掘	中体連チーム全中大会出場 クラブユース全国大会ベスト16	ウェルフェアオフィサー(WO)講習会 毎年開催	北信越国体・本国体視察、分析、発信 2種、4種、技術、Jクラブとの連携 信州チャレンジへの協力	U13年代、U15年代後期の活性化により4種と2種の連携強化
2021	長野県フットボールカンファレンス参加促進			各連盟の大会でWO配置促進		
2022	JFAフットボールカンファレンス参加促進					
2023	長野県フットボールカンファレンス参加促進			リーグ戦でWO配置促進		
2024	指導者研修会開催	参加チームで作り上げるリーグ環境	中体連チーム全中大会出場 クラブユース全国大会ベスト8			
2025	長野県フットボールカンファレンス参加促進					
2026	JFAフットボールカンファレンス参加促進					
2027	長野県フットボールカンファレンス参加促進			すべての公式戦にウェルフェアオフィサー配置促進	国民スポーツ大会で長野県代表が優勝	
2028	魅力あるクラブ経営、指導環境確立					
2029	長野県フットボールカンファレンス参加促進			すべての公式戦にウェルフェアオフィサー配置		
2030	魅力あるクラブ経営、指導環境確立 JFAフットボールカンファレンス参加促進					
2030 達成目標	魅力あるチーム経営および指導環境により中体連チームおよびクラブチームの選手数増加	カテゴリーやレベルに合ったゲーム環境づくり促進	全中大会毎年出場 クラブユース全国大会毎年出場 & ベスト8	すべての公式戦にウェルフェアオフィサー配置		U12&13交流リーグおよびU15&16交流リーグ設立

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	4種委員会	
	a	b	c	d	go for 2027国体	
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	地域リーグの活性化により各チームの活動を活発化につなげ、多くの子どもたちと保護者、関係者がサッカーに触れる機会を増やし、身近なスポーツになる環境を醸成する。		全国レベルで活躍できる選手育成に向けて各地域リーグから県リーグの開催を進めているものの、県リーグについては地域をまたいでの移動を伴うことから、新型コロナウイルスの影響による安全面を考慮して中止とする。 各地域でのリーグ戦も地域の実情により判断することとする。	講習会を毎年開催。	各種別への継続的な育成につながることを目指した土台づくり。	地域リーグ・県リーグの定期的な巡回を実施。
2021			2020年からの回復を目指し、地域リーグ・県リーグを活性化していき全国レベルで活躍できる選手育成につなげていく。			
2022		佐久市臼田運動公園の人工芝グラウンド完成により、地元地域を中心に東信地区フットボールセンターの機能推進を図る。	リーグ活性化に向けて、地域リーグと県リーグの入替制など仕組みづくりを研究、検討する。			
2023						
2024						
2025						
2026						
2027						
2028						
2029						
2030						
2030達成目標						

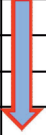
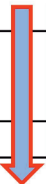
長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	女子委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	委員会独自の目標・事業
2020	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
2020	○なでしこひろばの活動に協力してくれるクラブや団体を増やす。 ○県内各地で初心者フェスを開催する。		○各年代の県代表が北信越大会で上位入賞を目指す。	○小学生女子大会2大会にマッチウェルフェアオフィサーを配置する。	○ターゲットエイジに対するトレーニング環境の整備。	○組織改革 ○4種と連携(ガールズエイト)
2021		○サッカー競技の発展と人工芝設置の関連性を掘り下げ、県や自治体への建設促進を検討する組織を県協会内に設置する。	○各年代の県代表が北信越大会で上位入賞を目指す。 ○信州チャレンジ女子の開催検討へ。	○U12に加え、U15大会にマッチウェルフェアオフィサーを配置する。 ○MWO研修会を開催する。	○2027に向け指導スタッフの充実。 ○選手の発掘をする。	○女性指導者B級ライセンス取得者1名増(毎年継続していく)
2022					○ターゲットエイジに対するトレーニング強化。 ○円滑な競技運営を成功させるために、競技運営の質を高める。	○公式記録員の養成
2023		○署名活動を展開しつつ、自治体関係への地道な働きかけを続ける。	○U15チームが全国大会に出場する。 ○県内出身選手がなでしこリーグで活躍する。 ○信州チャレンジ女子を開催する。			
2024						
2025	○なでしこひろばの登録団体を20まで増やす。 ○県内4地区で年1回参加人数200人規模のフェスを開催する。		○U15、高校チームが全国大会で上位入賞する。 ○県内選手がWEリーグで活躍し、日本代表に選ばれる。 ○信州チャレンジ女子の大会充実を図る。	○U12、U15、U18年代の大会にマッチウェルフェアオフィサーを配置する。 ○MWO研修会を開催する。	○ゲーム環境を整え、実践の中でチームの強化を図る。 ○競技運営のレベルを県基準レベルまで引き上げる。	
2026						
2027	○なでしこひろばの登録団体を30まで増やす。 ○県内4地区で年1回参加人数200人規模のフェスを開催する。				○国民スポーツ大会で、成人女子・少女共に優勝する。	
2028			○U15、高校チーム、社会人チームが全国大会で上位入賞する。 ○県内出身選手がWEリーグで活躍し、日本代表に選ばれる。 ○信州チャレンジ女子の大会充実を図る。	○すべての年齢カテゴリー大会でMWOを配置する。 ○MWO研修会を開催する。	○2027までの経験を活かし、より選手の強化、競技運営の質の向上を目指す。	
2029	○なでしこひろばの登録団体を40まで増やす。 ○県内4地区で年1回参加人数200人規模のフェスを開催する。					
2030						
2030達成目標	○なでしこひろばの登録団体を50まで増やす。 ○県内4地区で年1回参加人数200人規模のフェスを開催する。					

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	シニア委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	『長野県高校OBシニアサッカー交流大会』を軸とした新たな切り口の交流大会を企画し、一度サッカーから離れてしまったプレイヤーの呼び戻しを図る。	シニアメンバーの住居あるいは活動拠点の地区担当理事と連携し、あらゆる角度から行政・企業などへの働きかけに協力する。	O-60/O-70は全国大会出場を決めており、それぞれのチームが決勝ラウンドに出場する。	各チームにウェルフェアオフィサーの役割、必要性を充分認識させる。	開催種別のバックアップが充分機能するような運営スキルの構築。	競技運営委員会と連携し、主管収益事業等への運営協力を積極的に行う。
2021	 多様な切り口で県内4地区ごとにイベント等を企画しながら、他種別との交流を含めサッカーファミリーの拡大を	 各地区理事と協働・連携し、4地区の情報を収集しながら施設拡充の	 各世代の強化のための強豪都道府県との交流戦を委員会で企画し、	 シニアサッカー選手ならではの『いい話・ためになる話』を聴ける『出前講座』の開催		 他種別・専門委員会との連携を密に協会活動の理解と協働の
2022						
2023						
2024						
2025 (5年後)	O-40,O-50両カテゴリーは登録チームが15チーム以上となる。 O-60は6チーム以上の登録となる。 O-70は2チーム以上の登録となる。	2020年度から働きかけに協力した結果、南信地区若しくは東信地区にフットボールセンターが建設されるか施工計画が確定される。	O-40,O-50,O-60,O-70各カテゴリーが全て全国大会常連であり且つ2カテゴリーは決勝ラウンド進出を果たす。また、どれかのカテゴリーが全国優勝を果たす。	各チームにウェルフェアオフィサーが3名以上ずつ在籍する。	開催種別のバックアップパーとして中心的な存在となるよう運営スキルの取得。 	競技運営委員会と連携し、主管収益事業等への運営協力を積極的且つ継続的に行う。
2026	 主として4種との連携によるファミリー拡大を図る 『おじいちゃんコーチ』 『上手なおっちゃん選	 シニア世代ならではの立場も活用しつつ各地区理事と協働・連携を	 強豪都道府県との定期的な交流戦にチームを	 NFAホームページ内に『おっちゃん・じいちゃん選手のいい話』リレーコラムを開設し、人権の大切さを紡いでいく		 すべての委員会と連携できる多種多様な活動および力量・知識を持った委員の育成並びに情報共有を継続的に実施していく
2027						
2028						
2029						
2030	O-40,O-50両カテゴリーは登録チームが20チーム以上となる。 O-60は10チーム以上の登録となる。 O-70は4チーム以上の登録となる。	2020年度から働きかけに協力した結果、南信地区と東信地区にフットボールセンターがそれぞれ建設されるか施工計画が確定される。	O-40,O-50,O-60,O-70各カテゴリーが全て全国大会決勝ラウンド進出の常連となる。また、内2カテゴリーが常に全国優勝を果たす。	各チームにウェルフェアオフィサーが5名以上ずつ在籍する。		
2030 達成目標	シニア種登録メンバーが2020年度の2倍の人数となる。	県内4地区にフットボールセンターが完成する。	シニア種全カテゴリーが全国優勝を経験している。	リスペクトの精神が全てのカテゴリーの大会において完遂される。		

フットサル委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	フットサル委員会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体 2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	そこにボールがあるからボールを使って遊ぼう。身近で家族と友達と遊べる環境を作れるようにします。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	ウェルフェアオフィサー資格取得を普及していく。	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	全日本大会の開催充実
2021	そこにボールがあるからボールを使って遊ぼう。身近で家族と友達と遊べる環境を作れるようにします。	ファミリーフットサルを開催地を増やします。	育成普及を強化し、指導者、チーム運営者のレベルの向上を行い、指導レベルをアップしていきます。	↓	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	審判・指導者・ウェルフェアオフィサーライセンスの普及
2022	↓	ファミリーフットサル地域巡回開催を行い大会数を増やして参加者の増員を目指す。	↓	全大会にウェルフェアオフィサーを置いていきます。	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	全チームの審判・指導者・ウェルフェアオフィサーライセンス
2023	↓	使用施設を各市町村開放を働きかける。	↓	↓	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	全国選抜大会への出場と上位を目指す。県内4地域でのフットサル普及を均等に増やす。
2024	↓	↓	上位指導者ライセンスの取得普及を目指してチームレベルアップを図る。	↓	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	各種全日本大会出場チームの上位を目指す。県内4地域でのフットサル普及を均等に増やす。
2025	そこにボールがあるからボールを使って遊ぼう。身近で家族と友達と遊べる環境を完成させる。	使用施設を各市町村開放を完成させる。	↓	県内フットサル選手及び愛好者全員による、暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーを目指す。	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	各種全日本大会出場チームの上位を目指す。県内4地域でのフットサル普及を均等に増やす。
2026	どこでも、いつでも、誰でもフットサルを楽しめる環境を作る。	県内4地域での均等なフットサル楽しめる施設を充実させる。	県内4地域でトレセンの開始する。	↓	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	各種全日本大会出場チームの優勝を目指す。県内4地域でのフットサル普及を均等に増やす。
2027	↓	↓	↓	↓	2027国民スポーツ大会エキシビジョン大会開催を目指します。	各種全日本大会出場チームの優勝を目指す。県内4地域でのフットサル普及を均等に増やす。
2028	↓	↓	県内チームの全国大会出場とフリーグ参入チームを2チームに。	↓		
2029	↓	↓	↓	↓		
2030	↓	↓	↓	↓		
2030 達成目標	どこでも、いつでも、誰でもフットサルを楽しめる環境を完成させる。	県内4地域での均等なフットサル楽しめる施設を完成させる。	県内チームの全国大会優勝とF1リーグ参入チームを2チームに。	県内フットサル選手及び愛好者全員による、暴力や差別を根絶、リスペクトフェアプレー精神を持つプレーヤーとなる。		

将来あり方委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々な仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献す	将来あり方委員会
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。
2020	サッカーファミリーを幅広く捉える概念を、事務局、各委員会と共有し、まず協会所属者にこの概念が定着することを目指す。本協会主催事業が常にこのファミリーを意識した活動となるように啓発していく。		県単独代表のチームが、全国大会で1勝できるように、北信越予選を経る大会では確実に全国へ出れるように、事務局や当該種別と連携し、チームをサポートする。	規律・フェアプレー委員会に協力して、各種大会の上位対戦、上位リーグでウェルフェアオフィサーが設置されるよう努める。チームに対してはウェルフェアオフィサーの重要性啓発に努めるとともに、資格取得者の増加を図る。	本委員会内に設置している国体準備委員会において開催への課題を把握し、事務局や各委員会と連携し準備を進める。県の国体推進室と連絡を密にするとともに、開催自治体との情報共有を図る。特に施設整備について運営側の要望を具体的に上げていく。
2021					
2022					
2023					
2024	北信、南信の自治体に、地域のニーズ情報や、望ましい施設基準を、事務局と連携しながら提供、広報に努め設置を目指す。		県単独代表のチームが、全国大会でベスト8に進出できるように、北信越予選を経る大会では確実に全国へ出て1勝できるように、事務局や当該種別と連携し、チームをサポートする。	規律・フェアプレー委員会に協力し、各チームにウェルフェアオフィサーが設置されるよう努める。	本委員会内に設置している国体準備委員会において開催準備の課題を把握し、事務局や各委員会と連携し具体的施策を進める。県の国体推進室と連絡を密にするとともに、開催自治体との連携を深め具体的な対応を図る。
2025					
2026					
2027					
2028	4地区に設置されたフットボールセンターの運営・活用に協力する。		県単独代表のチームや北信越予選を経て全国大会へ出るチームが、常にベスト8・ベスト4が狙えるように、事務局や当該種別と連携し、チームをサポートする。	規律・フェアプレー委員会に協力し、全ての大会や全てのチームにウェルフェアオフィサーが設置されるよう努める。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催を成功させ、長野県代表は3種別で優勝を目指す。
2029					
2030					
2030達成目標	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなる。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。			

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	地区協会部会	
2020年宣言	a	b	c	d	go for 2027国体	委員会独自の目標・事業
	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	
2020	2025年までに未登録都市を既存都市協会とひも付けしていく	地区・都市の現況を再確認	各都市に所属する選手の強化に当たり、県レベル・全国レベルの情報を共有できるよう都市全体会を活性化	各種講習会等の開催を都市協会単位・地域単位で行えるよう働きかける	各種別と都市協会のつながりを再構築し、地区として国体に向けた協力体制を模索する	部会開催と都市全体会開催により県協会が一体化出来るよう、情報集約・情報発信を徹底する
2021	〃	東信地区FCの活用模索	〃	〃	〃	〃
2022	〃	次候補地の選定・予算確保について検討。行政との連携	〃	〃	〃	〃
2023	〃	〃	〃	〃	〃	〃
2024	〃	具体案の抽出・具現化の検討	〃	〃	〃	〃
2025	〃	〃	〃	〃	トレーニング箇所・宿泊先について地区協会発信で県選手に助言できることがあれば協力する	〃
2026	2030年までに都市協会加盟の選手等を名簿化し、その家族・関係者を巻き込むファミリー作りに寄与する	事業主体への働きかけ	〃	〃	〃	〃
2027	〃	建設に向けNFCとしての助言	〃	〃	〃	〃
2028	〃	他地区の改修・整備の検討	〃	〃	国体の成功に向け各地区の協力を仰ぐ	〃
2029	〃	〃	〃	〃		〃
2030	〃	更なる整備に向け提言指針の策定	〃	〃		〃
2030 達成目標		新規FCの完成と県フェスティバルの開催	都市全体会が一体となり応援できるチームができるようになる	都市協会独自で内部講習会ができるよう人員育成を図る		地域を超えて都市同士の交流ができるような大会を開催する

技術委員会

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇氣と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	技術委員会
	a	b	c	d	no. for 2027国体
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。
2020	1.異種別交流会(高・中・中・小) 2.グラスルーツフェス開催(4地区) 3.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 4.キッズリーダー取得者の活躍の場づくり。高校でのキッズフェスティバル全県2回(キッズリーダー講習会を併設)	県協会にフットボールセンター整備特別委員会を設置具体的な活動をお願いする。 県民への広報・周知活動 キッズフェスティバルやその他のグラスルーツフェスティバルの開催を含めた利用の推進	1.指導者養成 B級FAコース開催16名 C級2コース開催40名 D級2コース開催40名 2.ゲーム環境 U12/リーグ研修での年代別ゲームの伝達およびオフサイドラインの導入 3.トレンセン (1)プロクトレセンへ2種B級指導者が関わる。 (2)信州チャレンジ12チームの構成および開催時期・大会方式の改善 (3)県内外の優れた指導者による選抜チーム指導機会の創出	1.大会におけるWOの配置を種別で実施。GF以上。リーグでの導入開始。(U12、U13、U15) 2.MWVO認定講習会の開催(12ブロック) 2種・3種・女子MWVO研修会年1回開催 3.健全育成クラブガイドラインの更新および周知	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。
2021	1.異種別交流会(高・中・中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 5.高校生がキッズリーダーのフェスティバル 各地区1回/年		1.指導者養成 B級FAコース開催16名 ーインストラクター2名体制 C級2コース開催60名 D級2コース開催40名 全チームへ有資格者スタート(完全実施25年) 2.ゲーム環境 U15県トップ10チーム、リーグ研修開始 U12/リーグ研修での年代別ゲームの伝達およびオフサイドラインの導入 3.トレンセン (1)トレンセン認定制度8割達成 (2)信州チャレンジ12チームの構成および大会方式の改善 (3)県内外の優れた指導者による選抜チーム指導機会の創出	1.大会におけるWOの配置を種別で実施。GF以上。リーグでの導入開始。(U12、U13、U15) 2.MWVO認定講習会の開催(12ブロック) 2種3種・女子・シニアMWVO研修会の開催 3.クラブウェルフェアオフィサー研修会開催開始 4.健全育成クラブガイドラインの更新および周知	2027ターゲットU10トレンセン。ラージグループ把握、県外遠征年4回男女合同で行うことも視野。 U10/リーグは8人以下でのゲームとする。 障がい者サッカー担当の充実、選手のが活躍できる場の創出。
2022	1.異種別交流会(高・中・中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 5.高校生がキッズリーダーのフェスティバル 各地区1回/年		1.指導者養成 B級FAコース開催16名 ーインストラクター2名体制 C級3コース開催60名 D級2コース開催40名 全チームへ有資格者スタート(完全実施25年) 2.ゲーム環境 U15県トップ10チーム、リーグ研修開始 U18件部10チーム体制 U12/リーグ研修での年代別ゲームの伝達およびオフサイドラインの導入 3.トレンセン (1)プロクトレセンへ2種B級指導者が関わる。 (2)信州チャレンジ12チームの構成および大会方式の改善 (3)県内外の優れた指導者による選抜チーム指導機会の創出	1.大会におけるWOの配置を種別で実施。GF以上。リーグでの導入開始。(U12、U13、U15) 2.MWVO認定講習会の定期的な開催(12ブロック) 2種、3種MWVO認定講習会の定期的な開催 女子、シニアの認定講習会開催 3.CWO認定講習会の開催 4.健全育成クラブガイドラインの更新および周知	ターゲットU11 ラージグループとコアでの活動 地域U11/リーグを充実 中間ゴール配置
2023	1.異種別交流会(高・中・中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 高校を使ったキッズフェスティバル 各地区2校/年 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 5.他年代のフェスティバル交流会の開催 地区1回 Jとのコラボ	継続しながら、見直し・具体化。	1. 信州チャレンジ招待チームの再構成、開催時期を秋へ(10月3連休) 2. 指導者養成 B級FAコース開催24名(インストラクター2名体制) C級4コース開催60名 D級2コース開催40名 全チームへ有資格者2年目(完全実施25年) 2.ゲーム環境 U15県トップ10チーム、リーグ研修開始 U18件部10チーム体制 U12/リーグ研修での年代別ゲームの伝達およびオフサイドラインの導入 3.トレンセン (1)トレンセン認定制度全トレンセン達成、完全実施。 (3)県内外の優れた指導者による選抜チーム指導機会の創出	1.大会におけるWOの配置を種別ごとに実施。 リーグ内でMWVO研修の実施。 2.MWVO認定講習会の定期的な開催(12ブロック) 2種、3種MWVO認定講習会の定期的な開催 女子、シニアの認定講習会開催 3.CWO認定講習会の開催 4.健全育成クラブガイドラインの更新および周知	ターゲットU12 ラージグループとコアでの活動 U11の県トレンセンメンバーは、U12リーグへできるだけ参加 地域U12/リーグを充実 U12県リーグは中間ゴールでの実施(FBC・筑北へ中間ゴール配置) U13年代へのテコ入れ。県内U13リーグの活性化
2024	1.異種別交流会(高・中・中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 5.他年代のフェスティバル交流会の開催 地区1回 Jとのコラボ		1. ヘッドオブコーチによる指導者・選手の直接指導(トレンセン・単独チーム) 2. 信州チャレンジ招待チームの再構成、開催時期を秋へ(10月3連休) 3. 指導者養成 B級FAコース開催24名(インストラクター2名体制) C級4コース開催60名 D級2コース開催40名 全チームへ有資格者2年目(完全実施25年) 4.ゲーム環境 U15県トップ10チーム、リーグ研修開始 U18件部10チーム体制 U12/リーグ研修での年代別ゲームの伝達およびオフサイドラインの導入 5.トレンセン (1)プロクトレセンの質の向上、県トレンセンの質の向上。 (2)県内外の優れた指導者による選抜チーム指導機会の創出	リーグにMWVO 全チームにCWO配置 健全育成クラブガイドラインの実施	ターゲットU13 ターゲット年代の日常ゲームの充実。上のカテゴリへ積極的に参加。 知的障がいサッカーのプレーヤーを増やす。指導者を増やす。関わる人を増やす・理解者を増やす。
2025	1.異種別交流会(高・中・中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 人工芝Gを持つ高校を使ったキッズフェスティバル 各地区2校/年 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 5.他年代のフェスティバル交流会の開催 地区1回 Jとのコラボ		前年までのものを踏襲しつつ (1) インストラクターの増員(B級インストラクターを増やす) 全チームに有資格者達成の年	CWO/MWVO義務化 健全育成クラブガイドライン実施義務化スタート	ターゲットU14 信州チャレンジ優勝(県内参加チーム) ターゲット選手は、可能な限りU15リーグへの参加(男女) 知的障がいサッカーの認知度アップ、プレーヤー確保 知的障がい県選抜練習会の確保

2026	1.異種別交流会(高・中、中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 人工芝Gを持つ高校を使ったキッズフェスティバル 各地区2校/年 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 保育園巡回とのリンク(U6、U8) 5.他年代のフェスティバル交流会の開催 地区1回 Jとのコラボ		前年までのものを踏襲しつつ (1) インストラクターの増員(B級インストラクターを増やす) リフレッシュ研修の確保 ターゲット年代(U15)環境の充実。	CWO/MWO義務化 健全育成クラブガイドライン実施義務化スタート 郡市単位にWOG配置開始	ターゲットU15 U15リーグFAリーグの質・強度の向上 U15北信越リーグに4チーム 女子U15リーグの質的向上 知的障がい県選抜練習会の確保	
2027	1.異種別交流会(高・中、中・小) 連盟大会決勝のイベントとして。 国体会場・人工芝Gを持つ高校を使ったキッズフェスティバル 各地区2校/年 高校生がキッズリーダー 2.グラスルーツフェス開催(4地区2回/年) 3.フットサルフェス開催対象(ミドル・レディース・シニア) 4.キッズフェスティバル(お父さんお母さんへのアプローチ)地区2回/年 保育園巡回とのリンク(U6、U8) 5.他年代のフェスティバル交流会の開催 地区1回 Jとのコラボ		国体を見据えた年間カレンダー TSG レジェンドを作る。	健全育成クラブ表彰開始 国体にてMWOG配置(技術委員・2種委員・3種委員・女子委員)	ターゲットU16/15 男女 県外遠征 直前合宿	
2028	キッズ・シニア・女性・障がい者などすべてを含むフェスティバルの開催 全県 2回		本国体連続出場のための強化策 リーグ、選抜活動、指導スタッフの研修	全チームにCWO CWO研修会全県で開催 健全育成クラブガイドライン優秀チームの表彰/顕彰		
2029	キッズ・シニア・女性・障がい者などすべてを含むフェスティバルの開催 地区 2回/年		国体年代が、U18で活躍。 プレミア参入。	全チームにCWO CWO研修会全県で開催 健全育成クラブガイドライン優秀チームの表彰/顕彰		
2030	グラスルーツフェス各都市2回/年 冬季の体育館でのフットサルフェス各都市で1回		国体年代が、U18で活躍できる大会方式の再検討(リーグ・連盟ノックアウト大会) プレミア参入。	全チームにCWO CWO研修会全県で開催 健全育成クラブガイドライン優秀チームの表彰/顕彰		
2030 達成目標						

長野県サッカー協会の理念を具体化するビジョンの達成するために、事務局・各委員会・専門委員会のアクションプランを策定してください。

【協会理念】サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

	1		2	3	委員会名	
ビジョン	サッカーの普及に努め、誰もがサッカーを楽しみ、スポーツをより身近にすることで県民が健康で幸せになれる環境を創る。		長野県のチームが全国レベルで活躍できるよう育成と強化に努め、県民に勇気と希望と感動を与える。	暴力や差別を根絶して、リスペクトフェアプレーの精神に基づき、県内の様々な仲間と共に、全国や海外の人々と友好を深め社会に貢献する。	グラスルーツ委員会	
	a	b	c	d	go for 2027国体	
2020年宣言	県民の10人に一人がサッカーファミリーとなるよう努力します。	県内4地区にフットボールセンターを整備します。	長野県を代表するチームが全国大会で上位進出を果たします。	各種大会やチームにウェルフェアオフィサーを置きます。	2027国民スポーツ大会と全国障がい者スポーツ大会で、サッカー競技会開催の成功を目指します。そして長野県代表は優勝します。	委員会独自の目標・事業
2020	・保育園、幼稚園、養護学校への巡回指導 巡回先拡大(38/77市町村39%) ・グラスルーツフェスティバル形式により4地区+女子 開催、12地区で4vs4フェスの開催およびその準備 ・ユニクロサッカーキッズ 開催準備 ・ウォーキングサッカーによる大人対象の体験会(各地域にて) ・障がい者サッカー普及 JIFFと協働しサッカーができる場の提供する	・フットボールセンターが整備された後、地域に寄与するコンテンツを検討ならびに提案	・キッズエリートU9によるタレント発掘、サッカーをもっとやりたいという選手への環境提供(技術委員会連携) ・U10リーグ以下 少人数制ゲームを推奨、導入(U10 6人制、U9以下4vs4)(技術委員会連携) ・全国障がい者スポーツ大会に向けた長野県選抜チーム結成練習会・選考会→選抜のルーティーンを確立する。また養護学校への巡回を実施してタレントの発掘をする	・巡回担当者、フェスティバル担当者は必ずキッズリーダー以上の資格を取得。リスペクトフェアプレーの精神を理解して、暴力や差別を根絶する推進者として活動する。(継続して取り組む)	・キッズエリートU9によるタレント発掘、サッカーをもっとやりたいという選手への環境提供(技術委員会連携) ・全国障がい者スポーツ大会に向けた長野県選抜チーム結成練習会・選考会→選抜のルーティーンを確立して強化に努める。また養護学校への巡回を実施してタレントの発掘をする(技術委員会連携)	・キッズエリートU9 3地区実施(千曲・松本・飯田)(技術委員会連携) ・グラスルーツデイ(障がい者サッカー)の継続(第3土曜日/月) ・グラスルーツ委員会組織の充実 マンパワーの拡充
2021	・保育園、幼稚園、養護学校への巡回指導 巡回先拡大 ・グラスルーツフェスティバル形式により4地区+女子 開催、12地区で4vs4フェスの随時開催 ・高校生のキッズリーダー取得→キッズフェスティバル開催(技術委員会連携) ・ユニクロサッカーキッズ 開催(以降隔年開催) ・ウォーキングサッカーによる大人対象の体験会(各地域にて) ・障がい者サッカー普及 JIFFと協働しサッカーができる場の提供する				・キッズエリートU9によるタレント発掘、サッカーをもっとやりたいという選手への刺激を入れる(技術委員会連携) ・全国障がい者スポーツ大会に向けた長野県選抜チーム結成(技術委員会連携)練習会・選考会→選抜→強化、同大会 東海・北信越予選参加。養護学校への巡回	・キッズエリートU9 4地区実施(東信ブレ実施)(技術委員会連携) ・ユニクロサッカーキッズ開催
2022			・長野県全地区 U10リーグ6人制化 ・U9以下のゲーム 4vs4によるフェスティバル実施			・グラスルーツ委員会委員長等改選

2023					・キッズリーダー養成講習会、フェスティバルを通じて、誰もがサッカーを楽しめる環境を啓発していく。(ex.フェスティバルとウェルフェアオフィサー講習会同時開催)		・ユニクロサッカーキッズ開催
2024						全国障がい者スポーツ大会 予選突破 本大会出場	・全国障がい者スポーツ大会 全国出場
2025	・保育園、幼稚園、養護学校への巡回指導 巡回先拡大(55/77市町村 71%) ・グラスルーツフェスティバル形式により4地区+女子 開催、12地区で4vs4フェスの随時開催 ・高校生のキッズリーダー取得→キッズフェスティバル開催(技術委員会連携) ・ユニクロサッカーキッズ 開催(以降隔年開催) ・ウォーキングサッカーによる大人対象の体験会とフェスティバル開催 ・障がい者サッカー普及 JIFFと協働しサッカーができる場の提供する(インクルーシブフェスティバル開催)						・ユニクロサッカーキッズ開催
2026				キッズエリートU8実施スタート(4地区) その他事業継続実施			・キッズエリートU9 12地区開催
2027						全国障がい者スポーツ大会 優勝	・ユニクロサッカーキッズ開催 ・全国障がい者スポーツ大会優勝
2028						国体レガシーとして、以降全国大会に必ず出場しベスト4以上を目指す	
2029							・ユニクロサッカーキッズ開催
2030			キッズエリートU8 12地区で開催				・キッズエリートU8 12地区開催
2030 達成目標	長野県内全保育園幼稚園、養護学校で巡回指導を行う(77/77市町村 100%) ウォーキングサッカーフェスティバル開催 障がい者サッカーインクルーシブフェスティバル開催	フットボールセンターにて、性別、障がい等関係なく、全世代が同時にサッカーを楽しむフェスティバルを開催	12地区でキッズエリートU8・9実施	性別、障がい等関係なく、全世代が同時にサッカーを楽しむフェスティバルを開催			